

浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第2回運営委員会

令和3年7月26日



1 開会

2 あいさつ

3 今年度の取組

- (1) 第1回“浜松市デジタル・スマートシティ”オンラインセミナー
- (2) “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ
- (3) 第1回PF会員向けソリューションピッチ
- (4) 浜松デジタル・スマートシティMONTH
- (5) はままつ出張デジタル講座
- (6) Hamamatsu ORI-Project
- (7) データ利活用促進に向けた庁内の研修等
- (8) アーキテクチャーの検証に関する連携
- (9) 取組発信

4 マイナンバーカード利活用促進部会

5 各分野の状況報告

- (1) ウェルネス分野
- (2) エネルギー分野
- (3) 教育分野

6 意見交換

7 閉会

2 あいさつ



委員長（浜松市副市長） 山名 裕

3 今年度の取組

(1) 第1回“浜松市デジタル・スマートシティ” オンラインセミナー

第1回 "浜松市デジタル・スマートシティ"オンラインセミナー

- デジタル・スマートシティに関する知見を深めるための「オンラインセミナー」を、年度内に2回程度開催。
- 第1回は、南雲岳彦氏の浜松市フェロー就任を記念し、「Well-Being」をテーマとしたセミナーを開催した。

◆ 令和3年6月22日(火) 14:00-15:40 オンライン開催 (ZOOMウェビナー)

開会あいさつ
インプット

デジタル・スマートシティ浜松の推進～国土縮図型都市・浜松の挑戦～
浜松市長 鈴木 康友

講演

Liveable Well-Being City 実現に向けて ～日本と世界を結ぶキーコンセプト
浜松市フェロー
(一社) スマートシティ・インスティテュート 理事 南雲 岳彦 氏

講演

市民参加によるスマートシティ、DIY 都市
浜松市フェロー
(一社) コード・フォー・ジャパン 代表理事 関 治之 氏

講演

人間中心を実現するデジタル・スマートシティアーキテクチャ
慶應義塾大学大学院システムマネジメント研究科 教授 白坂 成功 氏

パネル
ディスカッション

登壇者：南雲 岳彦 氏、関 治之 氏、白坂 成功 氏、鈴木 康友
ファシリテーター：(株) HEART CATCH 西村 真里子 氏

第1回 "浜松市デジタル・スマートシティ"オンラインセミナー

HDSC MONTH

ホーム

"デジタル・スマートシ
ティ浜松"ウェビナーシリー
ズ

令和3年度デジタル・ス
martシティ関連イベ
ント・セミナー等(冠事
業)募集要項

"デジタル・スマートシ
ティ浜松"オンラインセミナ
ー

第1回オンラインセ
ミナー

令和2年度デジタル・ス
martシティ浜松 オンラ
インフォーラム

令和2年度冠

アーカイブ動画



セミナー資料



インプット

浜松市長 鈴木 康友



講演 I

南雲 岳彦 氏



講演 II

浜松市フェロー 関治之氏



講演 III

慶應義塾大学大学院

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/seminar/2021-1>

(2) “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ

分野間連携を促進するため、各分野の取組を紹介する「ウェビナー」を、月に1回程度開催。

＜直近のスケジュールと紹介分野＞



主催：浜松市、官民連携PF 対象：どなたでも視聴可能（無料）



第2回 ～スマート農業の取組と課題～

令和3年6月15日(火) 10:00-12:00
参加申込者：141名

開会 概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

講演

浜松スマート農業推進協議会
鈴木 厚志 氏

スマート農業 取組紹介

浜松地域新産業創出会議
名倉 真史 氏
株式会社 Happy Quality
宮地 誠 氏
株式会社アイファーム
池谷 伸二 氏

座談会/ 質疑応答

- ▼登壇者
鈴木 厚志 氏 名倉 真史 氏
宮地 誠 氏 池谷 伸二 氏
浜松市
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏

The screenshot displays the HDSC MONTH website. On the left, there is a navigation menu with links for Home, Webinar Series, and various topics. The main content area features a video player for the webinar, titled "デジタル・スマートシティ浜松"ウェビナーシリーズ 第2回 ～スマート農業の取組と課題～. Below the video, there are three resource cards: "ウェビナー概要説明", "スマート農業の取組と課題", and "スマート農業の取組紹介①". Each card includes a thumbnail image and a brief description of the content.

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-2>

第3回 ～モビリティ分野の取組と課題～

令和3年7月14日(水) 10:00-12:00

参加申込者：93名

開会 概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

インプット

浜松市モビリティサービス
推進コンソーシアム
熊瀧 潤也 氏

モビリティ分野 取組紹介

株式会社 DELIX
渡邊 一博 氏
We will accounting associates 株式会社
杉浦 直樹 氏
浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部
北嶋 秀明

座談会/ 質疑応答

- ▼登壇者
熊瀧 潤也 氏 渡邊 一博 氏
杉浦 直樹 氏 浜松市
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏

The screenshot shows the HDSC MONTH website. At the top, there is a navigation bar with the HDSC MONTH logo. Below it, there is a section for 'アーカイブ動画' (Archive Video) featuring a video player for the 3rd webinar. To the right of the video player, there is a section for 'ウェビナー資料' (Webinar Materials) with three thumbnails: 'ウェビナー趣旨説明' (Webinar Purpose Explanation), 'インプット' (Input), and 'Foodelixの取組紹介' (Introduction of Foodelix's Initiatives). Below each thumbnail, there is a brief description of the material.

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-3>

(3) 第1回PF会員によるソリューションピッチ

第1回PF会員によるソリューションピッチ

今年度の新たな事業として、PFの会員によるサービスやソリューションのピッチイベントを開催。

目的

PF会員が持っているサービスやソリューション等の発表や意見交換を行うことで、会員同士の連携を促進し新たなプロジェクトの創出につなげる。

開催概要

- 日時 令和3年8月6日（金） 13：30-16：00（予定）
- 会場 Co-startup Space & Community FUSE ※オンライン同時開催
- 対象 登壇者・視聴参加者ともにPF会員（参加費無料）
- 主催 浜松市、浜松市デジタル・スマートシティ官民連携PF
- 共催 FUSE（浜松いわた信用金庫）

募集 テーマ

浜松市デジタル・スマートシティ構想の第一期重点分野の各テーマ
「ウェルネス」「産業（ものづくり）」「音楽文化・エンターテインメント」
「観光・商業」「リモートワーク・多拠点居住」「見守り・災害対応」
「教育・子育て」「社会参加促進」「インフラ」
「エネルギー・循環型社会」「その他」

第1回PF会員によるソリューションピッチ

登壇団体（10団体）

令和3年8月6日(金) 13:30-16:00

開会挨拶
趣旨説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

協業に向けて
のヒント

浜松市フェロー
東 博暢 氏

ピッチ

ピッチ(5分)・質疑応答(5分)
×10団体

講評

浜松市フェロー
東 博暢 氏

グループ
セッション説明

▼セッション参加者

グループ
セッション

登壇団体および視聴者

団体名	テーマ
株式会社Y4.com	見守り・災害対応
PlanetWalker株式会社	産業（ものづくり）
ヘルスケアテクノロジーズ株式会社	ウェルネス
We will accounting associates 株式会社	リモートワーク・多拠点居住
株式会社FromTo	その他
株式会社フジEAPセンター	ウェルネス
株式会社ウフル	見守り・災害対応
ジャパン・トゥエンティワン株式会社	インフラ
西日本電信電話株式会社	エネルギー・循環型社会
日本電気株式会社	観光・商業

(4) 浜松デジタル・スマートシティMONTH

「デジタルファースト宣言」の理念等の普及・浸透を図るとともに、先進技術を活用したサービス等に市民の方が触れる機会を設けることで、「デジタル・スマートシティ浜松」推進の機運を醸成する。

開催期間

令和3年10月

- ※<浜松市>デジタルファースト宣言 令和元年10月31日
- ※<国>デジタルの日 令和3年は10月10日、11日

開催内容

- 主催事業：官民連携PFが開催するオンラインフォーラム
- 冠事業：企業や各種団体が実施するイベントやセミナー

スケジュール

事業名	7月	8月	9月	10月
主催事業		開催内容検討・登壇者調整		★ 10/25開催
冠事業	募集	決定・通知	事業PR	開催

企業や各種団体が実施するイベントやセミナーを募集し、期間内の様々な時期で開催する。

募集事業

以下のすべてに該当する事業

- ・ デジタル・スマートシティに関連したイベントやセミナー
- ・ 広く一般の参加を募る（または参加できる）事業
- ・ 令和3年10月に行われる事業
- ・ 浜松市内で行われる事業
- ・ 企業・団体（団体としての規約を有するもの）が行う事業

応募締切

令和3年7月30日（金）12:00

◆ 応募事業一覧（令和3年7月21日時点） ※応募順

No.	事業名	主催	開催日	概要
1	西部地域大学共同授業 特別公開講座	ふじのくに地域・ 大学コンソーシアム	10/2(土)	テーマ「人間と環境～静岡と未来のSDGs～」一般市民も参加可能な授業をハイブリット開催
2	第7回浜松いわたしんきんダンスパフォーマンスコンテスト	浜松いわた信用金庫	10/31(日)	2015年から開催しているダンスコンテストの様子をYouTubeでライブ配信
3	第3回スマートシティ・アーキテクト分科会	スマートシティ・インスティテュート	10/24(日)	SCI-Japanの「第3回スマートシティ・アーキテクト分科会」を浜松で開催
4	浜松いわた信用金庫 部活動応援プロジェクト「ガンバレ！部活動」	浜松いわた信用金庫	調整中	調整中
5	みんなの下水道教室オンライン	浜松市下水道工事課	10月中数回	小学生を対象に、下水道の仕組み・役割や水質浄化微生物についての授業をオンラインで開催

SCI-Japanの「第3回スマートシティ・アーキテクト分科会」が**10/24(日) 浜松**で開催されます！

第1回開催：令和2年11月14日（オンライン）

スマートシティ・アーキテクト育成キックオフ・イベント（2020年11月14日）



第1回分科会（2021年3月5日）の参加自治体

- | | |
|------------|-------------|
| 1 群馬県前橋市 | 14 三重県大台町 |
| 2 茨城県つくば市 | 15 大阪府豊中市 |
| 3 埼玉県さいたま市 | 16 兵庫県神戸市 |
| 4 東京都 | 17 兵庫県加古川市 |
| 5 千葉県千葉市 | 18 香川県高松市 |
| 6 神奈川県鎌倉市 | 19 岡山県真庭市 |
| 7 長野県小布施町 | 20 岡山県吉備中央町 |
| 8 長野県長野市 | 21 広島県東広島市 |
| 9 長野県茅野市 | 22 島根県益田市 |
| 10 静岡県袋井市 | 23 山口県宇部市 |
| 11 静岡県浜松市 | 24 山口県下関市 |
| 12 愛知県日進市 | 25 熊本県人吉市 |
| 13 三重県多気町 | 26 沖縄県浦添市 |

第2回開催：令和3年6月24日・25日 （@会津若松+オンライン）

【開催概要】

■開催日時：2021年6月24日（木）13:00～18:30（第1部／講義・ワークショップ）

2021年6月25日（金）10:00～12:00（第2部／講演）

■開催場所：スマートシティAiCT交流棟 + オンライン開催（ZOOMウェビナー）

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町1-7-7 <https://aizu-aiyumu.co.jp/about/>

■プログラム：下記の通りとなります

日時	プログラム	登壇者	オンライン
6月24日（木） 会場：スマートシティAiCT交流棟			
13:00～14:00	アーキテクティングに関する講義	慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 白坂 成功氏 同 特任助教 山崎 真湖人氏	ZOOM ウェビナー
14:00～18:30	アーキテクティング体験ワークショップ	慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教 山崎 真湖人氏 他 (要求定義～アーキテクチャ設計の全体の流れを体験)	WSは現地開催のみとなります
6月25日（金） 会場：スマートシティAiCT交流棟			
10:00～10:25	ホスト自治体からのプレゼンテーション	会津若松市 企画政策部 企画調整課 スマートシティ推進室 副参事兼室長 本島 靖氏	
10:30～11:30	特別対談「ポストコロナ、日本が進むべき新たな社会モデルとは？」	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長 新浪 剛史氏 アクセントチュア・イノベーションセンター福島センター共同統括 マネジング・ディレクター 中村 彰二郎氏	ZOOM ウェビナー
11:30～12:00	講演（スマートシティ・バランスト・スコアカード(BSC)のデザイン	スマートシティ・インスティテュート理事 南雲 岳彦	

(5) はままつ出張デジタル講座

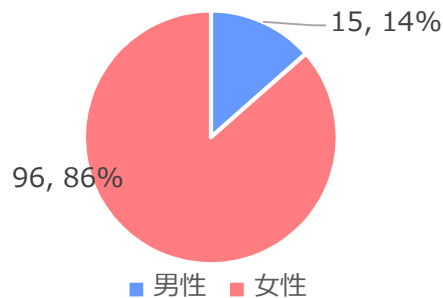
スマホ講座開催実績

- 5月～7月のトライアル期間中に12回のスマホ講座を実施。195名の方にご参加頂きました。（参加予定含む）。
- 参加者の9割近くが女性で、70代の参加者の割合が多かった。

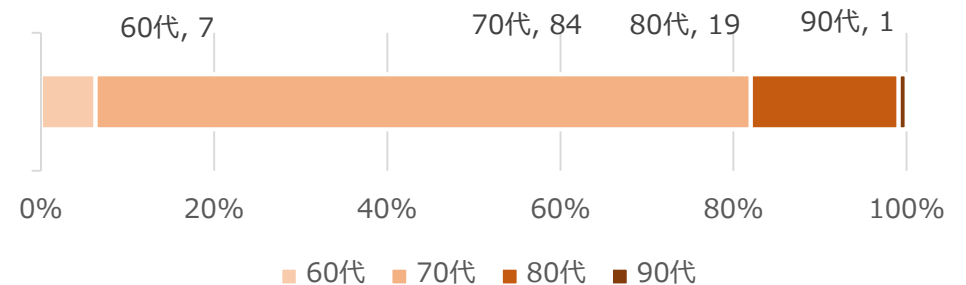
開催実績

No.	施設名称	開催日時	担当事業者	参加人数
1	笠井協働センター	令和3年5月11日(火)10-12時	NTTドコモ	14名
2	浜松市篠原協働センター	令和3年5月27日(木)10-12時	ソフトバンク	14名
3	竜川ふれあいセンター	令和3年6月8日(火) 10-12時	NTTドコモ	16名
4	龍山協働センター（龍山森林文化会館）	令和3年6月8日(火) 14-16時	NTTドコモ	14名
5	中部協働センター（クリエート浜松）	令和3年6月10日(木) 14-16時	ソフトバンク	15名
6	伊佐見協働センター	令和3年6月25日(金) 10-12時	ソフトバンク	19名
7	入野協働センター	令和3年6月25日(金) 14-16時	ソフトバンク	19名
8	冨塚協働センター	令和3年7月5日(月) 14-16時	ソフトバンク	24名
9	新津協働センター	令和3年7月27日(火) 10-12時	NTTドコモ	15名(予定)
10	雄踏文化センター	令和3年7月27日(火) 14-16時	NTTドコモ	15名(予定)
11	上阿多古ふれあいセンター	令和3年7月30日(金) 10-12時	NTTドコモ	15名(予定)
12	二俣協働センター	令和3年7月30日(金) 14-16時	NTTドコモ	15名(予定)

参加者性別

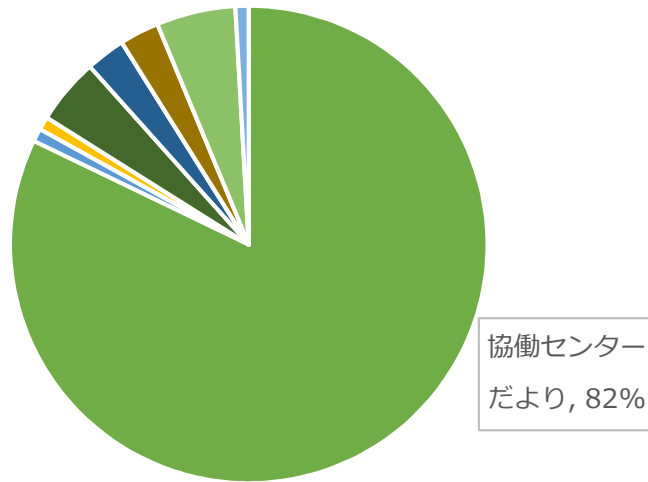


参加者年齢

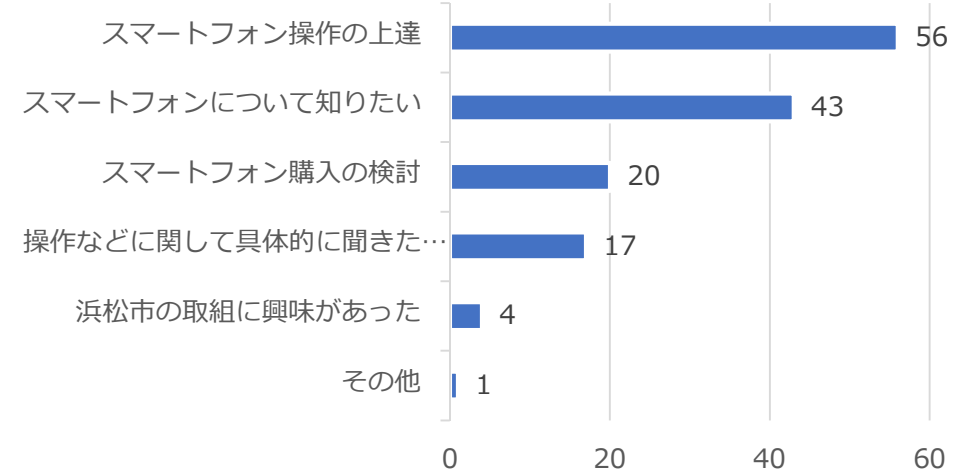


- スマホの使用用途は、家族とのコミュニケーションや通話、情報収集、写真撮影が多く、健康管理も一定数のニーズがあることが分かりました。
- 不安を感じる点に関しては、詐欺や料金、個人情報に加え、周囲に聞ける人がいないという方も多くいることが分かりました。

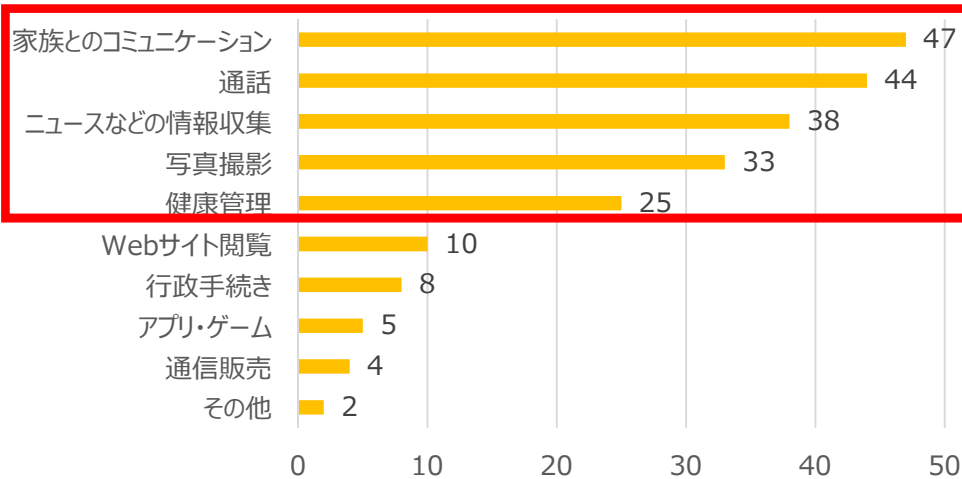
講座を知ったきっかけ



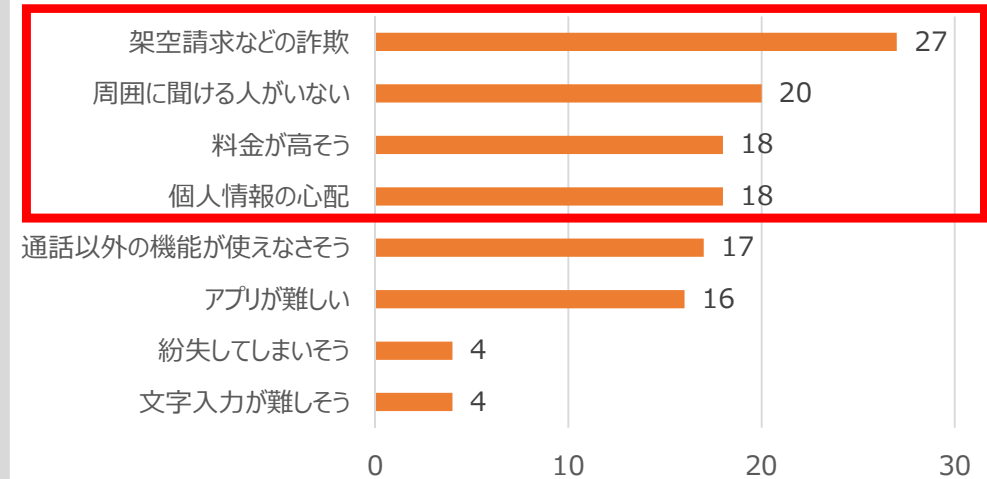
参加目的



スマホの使用用途



スマホを使うことに対する不安



- スマホ講座については、協働センターでの本格実装の予定。
- テレビ会議システム（ZOOM）等の講座については今年度後半にトライアル実施を予定。



スマートフォン



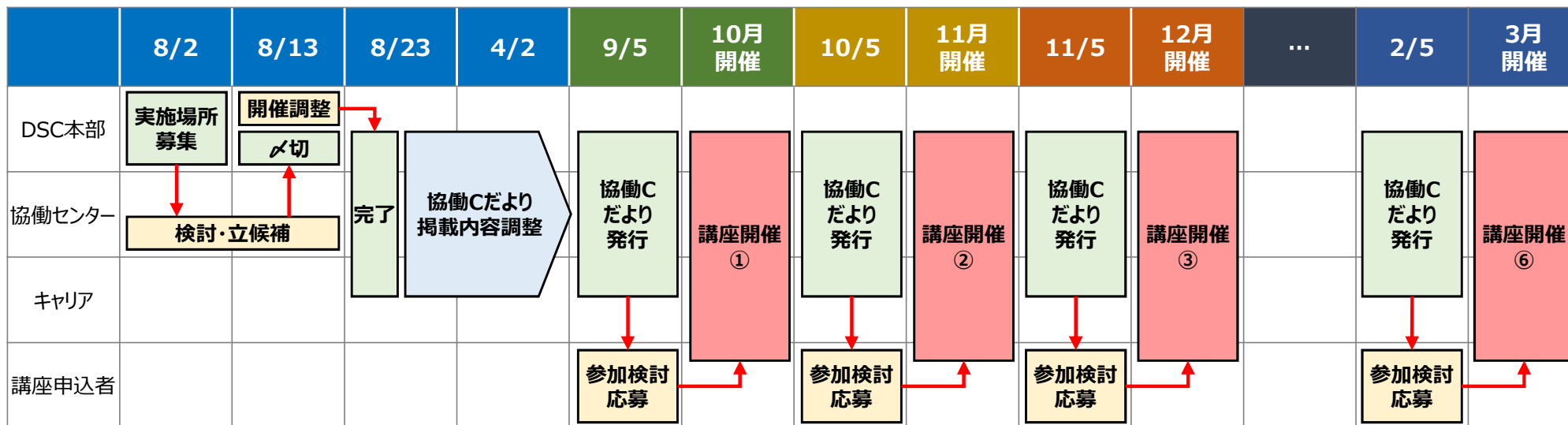
デジタルツール・アプリケーション

レベル： はじめて 「触れる」	<p>スマートフォンを持っていない、ガラケーしか持っていない、使い方がわからない方向け</p> <ul style="list-style-type: none">• スマートフォンの使い方 <p>など</p>	<p>テレビ会議システム（ZOOM）等、アプリケーションの使い方がわからない方向け</p> <ul style="list-style-type: none">• ZOOMの参加方法 <p>など</p>

- ・ トライアル講座の内容を踏襲した形で、10月～3月の間で継続してスマホ講座を実施する。

令和3年度 後半 スマホ講座開催スケジュール

✓ 協働センター等は開催を希望する場合、デジタル・スマートシティ推進事業本部へ「希望日時」「実施場所の概要」「担当職員」を連絡。



講座の構成

- ✓ 合計時間は概ね2時間を想定。
- ✓ 各講座の共通コンテンツとして、開会時に「デジタル・スマートシティ推進のご紹介」を、動画を活用して実施する。

5分	開会、デジタル・スマートシティ推進のご紹介(動画)
50分 ~ 110分	はままつ出張デジタル講座 (スマホ講座)
5分	アンケート回収

開催に関する条件

- 講師
ソフトバンク、NTTドコモ
- 費用負担
講師料は無料とする。
講座に必要な設備は協働センター等が、スマホは講師が準備する。
- 日時
講師派遣の時間は、以下の2パターンを想定。
①午前10時から正午12時 ②午後14時から午後16時
- 会場条件
最小催行人数10名以上、かつ各参加者同士の間隔を1.5m以上開けることが出来る会場を準備するものとする。
その他、アルコール消毒や検温の準備をするものとする。

(6) Hamamatsu ORI-Project

プロジェクト募集

- 募集期間中（5/21-7/1）に「募集説明会」「オンライン相談会」「アイデアソン」を実施し、ORI-Projectの周知を行いました。

全体スケジュール(参考)

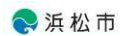
	2021												2022		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
全体スケジュール		募集期間			審査期間		実証期間					報告期間			
募集期間			6/4 ★募集説明会	6/18 ★相談会	7/1 ★募集〆切	7/21 ★通知予定									
実証期間						7/28 ★採択者向け説明会	8/2 ★実証開始					2/28 ★実証終了			

説明会&相談会開催

- オンライン上にてプロジェクト説明会を実施。約70名の希望者がオンラインで参加
- 希望のあったプロジェクト提案者に対して、個別相談会を実施(計11件)

アイデアソン実施

- 一般社団法人コード・フォー・ジャパンと共催し、農業/林業をテーマとしたアイデアソンを実施。
- 農業/林業の課題やその解決アイデアについてディスカッションを行った。



アーカイブ動画は[こちら](#)



Hamamatsu ORI-Project #2
令和3年度オンライン募集説明会

浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部
令和3年6月4日 14:00-15:30

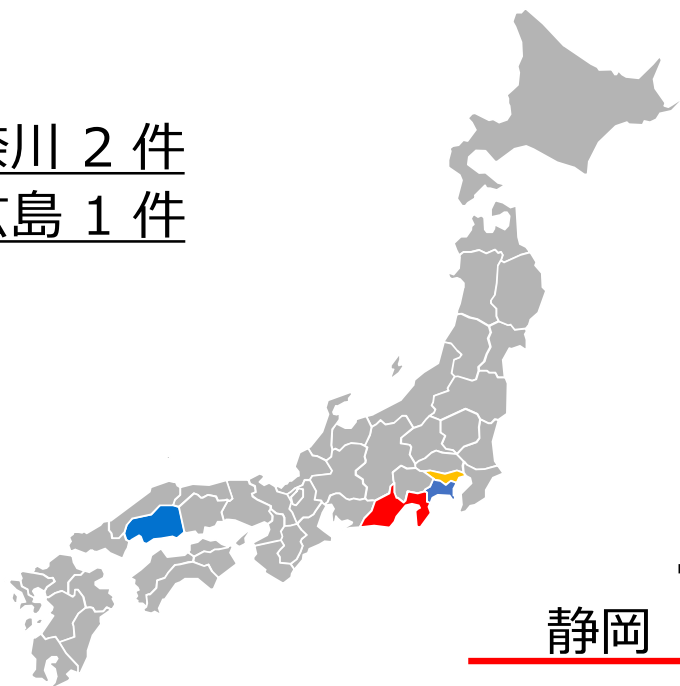


- 約 1 か月半の応募期間を経て、13件のプロジェクトの提案がありました。
- テーマは「市民目線の暮らしやすさ」が多く選択されました。

地域別内訳

選択テーマ

神奈川 2 件
広島 1 件



静岡 7 件

うち浜松市内 4 件

東京 3 件

合計 13 件



スマート農林業

4 件



市民目線の暮らしやすさ

6 件



その他

3 件

- 本年度は13件の提案プロジェクトのうち、7件を採択させて頂きました。

応募プロジェクト一覧（※テーマ別50音順）

テーマ	法人名・団体名	代表者氏名	所在地 (都道府県)	所在地	実証実験プロジェクト名称
1.農林業	株式会社フジヤマ	藤山 義修	静岡県	浜松市	3D点群データを利用した林道の利活用・維持管理・防災点検運用支援
1.農林業	Yui support株式会社	玉置 麻菜美	静岡県	浜松市	キッチンカーを活用した市民参加型6次化実証プロジェクト
2.暮らしやすさ	国立大学法人静岡大学	日詰 一幸	静岡県	静岡市	新型コロナウイルス感染シミュレーションに向けたD2D社会実験
2.暮らしやすさ	ためま株式会社	清水 義弘	広島県	広島市	まちの情報シェアアプリの災害時ボランティアニーズ収集活用
2.暮らしやすさ	八千代エンジニアリング株式会社	出水 重光	東京都	台東区	海域（浜名湖含む）へ排出されるプラスチック等の人工系ごみ輸送量の実態把握
2.暮らしやすさ	(一社) One Smile Foundation	辻 早紀	神奈川県	横浜市	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
3.その他	どこでもdoerプロジェクト事務局(個人)	岩井 隆浩	神奈川県	藤沢市	どこでもdoerプロジェクト



株式会社フジヤマ



MMS3D点群データ

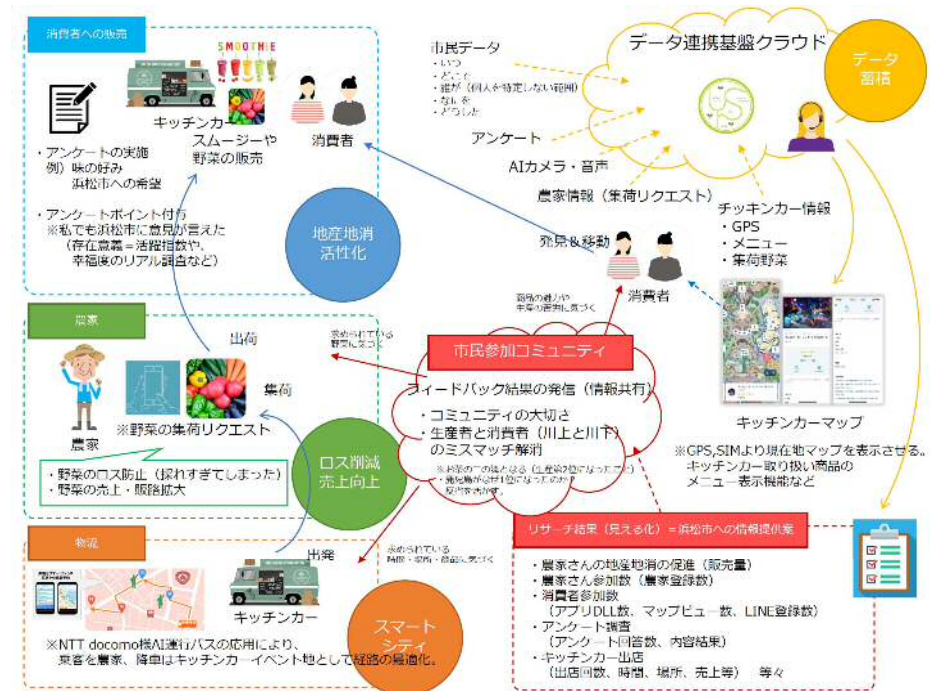


UAVレーザ活用データ



データ解析・抽出
林業の省力化、災害の速やかな情報伝達

Yui support株式会社



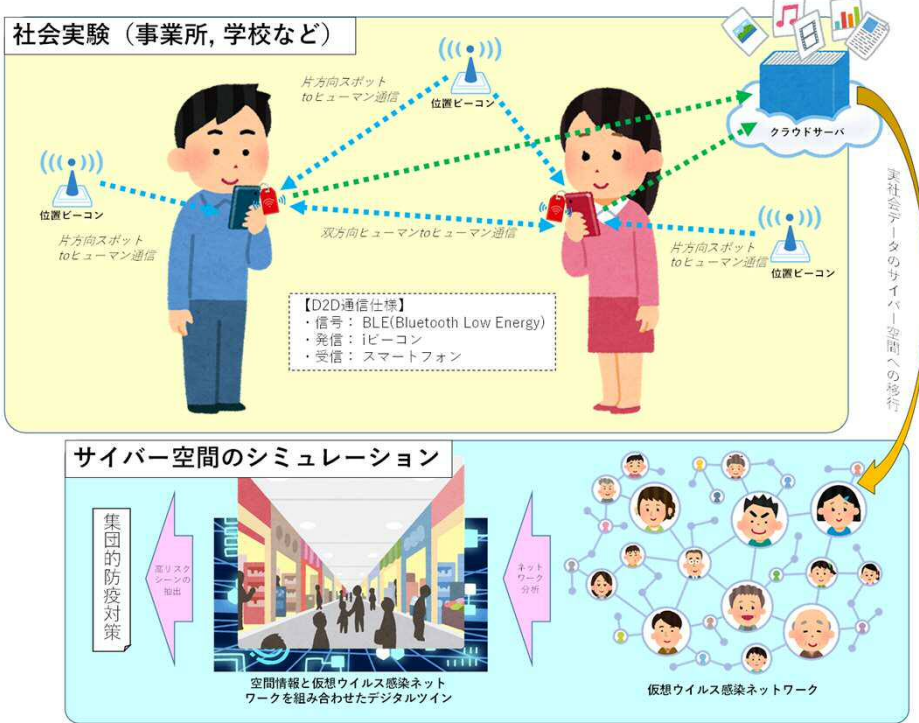
本拠所在地	静岡県浜松市
代表者	藤山 義修
テーマ種別	1.スマート農業・林業
プロジェクト名称	3D点群データを利用した林道の利活用・維持管理・防災点検運用支援
プロジェクト概要	林道や周辺山間部地形の3D点群データ等を取得し、解析。得られた結果により、林道の利活用提案危険個所の抽出を行う。危険箇所については、リアルタイムでの情報提供を検討。 データ連携基盤を活用した林業の省力化、災害の速やかな情報伝達を目指す。

本拠所在地	静岡県浜松市
代表者	玉置 麻菜美
テーマ種別	1.スマート農業・林業
プロジェクト名称	キッチンカーを活用した市民参加型6次化実証プロジェクト
プロジェクト概要	協力企業とIoT連携し、キッチンカーのリアルタイム位置情報の発信ができる仕組みをデータ連携基盤を活用して構築。 地元農産物や食品の提供を行いながら、Webサイト地図上に様々な情報を表示。併せて商品サンプル等の配布を行い、その効果をデータとしてまとめる。



国立大学法人静岡大学

社会実験とシミュレーションのイメージ



本拠所在地	静岡県静岡市
代表者	日詰 一幸
テーマ種別	2.市民目線の暮らしやすさ
プロジェクト名称	新型コロナウイルス感染シミュレーションに向けたD2D社会実験
プロジェクト概要	スマートフォンやビーコン等のデバイス間で通信をおこなったログからウイルス感染シミュレーション実験を行う。人々の行動、環境に関するデータを仮想空間で重ね合わせ、三次元デジタルツインの感染・防疫シミュレーションを行う。シミュレーション結果を分析・評価し、その上で疫学の専門的観点から防疫対策を検討する。

ためま株式会社

ITリテラシーに関わらず、1分で投稿



平常時



災害時

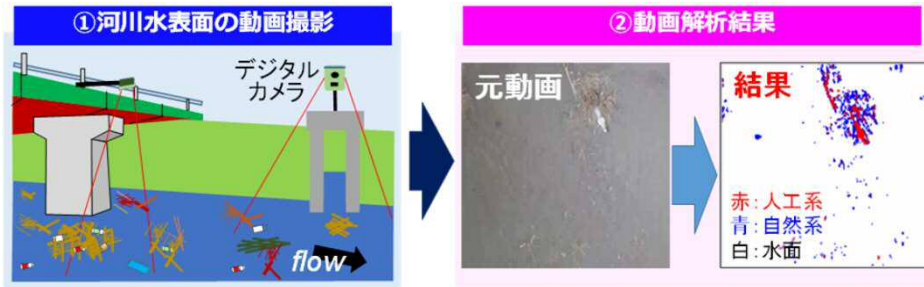


本拠所在地	広島県広島市
代表者	清水 義弘
テーマ種別	2.市民目線の暮らしやすさ
プロジェクト名称	まちの情報シェアアプリの災害時ボランティアニーズ収集活用
プロジェクト概要	平時に地域の課題や地域資源情報を発信する「まちの情報シェアアプリ」の投稿機能を、災害時に住民自身が被災情報を発信し、ボランティアセンターがニーズを収集できる機能として活用する。災害時の避難所開設状況、避難指示や避難勧告など発令情報をデータ基盤と連携し発信する。



八千代エンジニアリング株式会社

(一社) One Smile Foundation



アプリイメージ (本実験では写真は記録しません)



本拠所在地	東京都台東区
代表者	出水 重光
テーマ種別	2.市民目線の暮らしやすさ
プロジェクト名称	海域(浜名湖含む)へ排出されるプラスチック等の人工系ごみ輸送量の実態把握
プロジェクト概要	海洋ごみの適切な管理を実施していく上では、その基礎資料として、陸域から河川を経由し、どの程度のごみが海洋へ流出しているか実態把握が必須である。 本プロジェクトは、市販のデジタルカメラ等を用いて河川水表面を撮影し、画像解析によりプラスチックを含む人工系ごみの流出状況を把握する。

本拠所在地	神奈川県横浜市
代表者	辻 早紀
テーマ種別	2.市民目線の暮らしやすさ
プロジェクト名称	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
プロジェクト概要	スマートフォンなどのIT端末に笑顔認証機能を搭載し、笑顔が検知される度に1円などの寄付が行われるシステムを活用。寄付機能だけでなく、笑顔の効能から笑顔発生エリアの犯罪や孤立、自殺、鬱病、虐待、地域コミュニティ活性などの課題解決も同時に期待ができる。本実験を通じてそれらの検証を行う。



個別プロジェクトご紹介 (テーマ：その他)

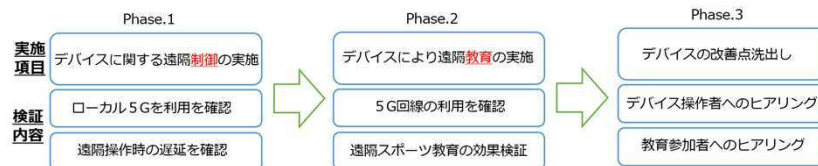
どこでもdoerプロジェクト事務局

 本頁の
 要約

「スポーツ教育」の問題を1つのソリューションで解決するためのファーストステップ

遠隔指導と現場の見える化で、スポーツ教育の諸問題を解決する

本プロジェクトは一見すると異なる課題を1つのソリューションで解決できることに気が付いた所からはじまりました。本年度の実証試験では地域のスポーツ教育（部活動含む）での活用によりデバイスの利用価値を算出すること、通信環境を含むデバイスの機能の試験を予定しています。



本拠所在地	神奈川県藤沢市
代表者	岩井 隆浩
テーマ種別	3.その他
プロジェクト名称	どこでもdoerプロジェクト
プロジェクト概要	<p>運動場などに設置された遠隔操作可能なカメラ型デバイスにより、遠隔地側から効果的なスポーツ指導の検証を行う。また、カメラデバイスを活用して部活動帰りの生徒の見守り実験も行う。</p> <p>OMO環境での効率的な指導・コミュニケーションをデータ連携基盤を通じて具体化する。</p>

(7) データ利活用促進に向けた庁内の研修等

(第1回 7/6(火)開催、月1回程度の開催を予定)

庁内デジスマ推進WG データ連携基盤部会

- ・活用事例を通じた理解促進
- ・各課が有するデータのオープンデータ化の検討
- ・ユースケースの検討

(7/13(火)開催)

3次元点群データ勉強会



静岡県交通基盤部政策管理局
建設政策課
イノベーション推進班 班長

杉本 直也 氏

- ・点群データの基礎知識
- ・活用事例や将来的な可能性
- ・点群データのオープンデータ化に向けて

(8/2(月)開催予定)

オープンデータ研修会



・(一社)コード・フォー・ジャパン
代表理事
・内閣官房CIO補佐官
・浜松市フェロー

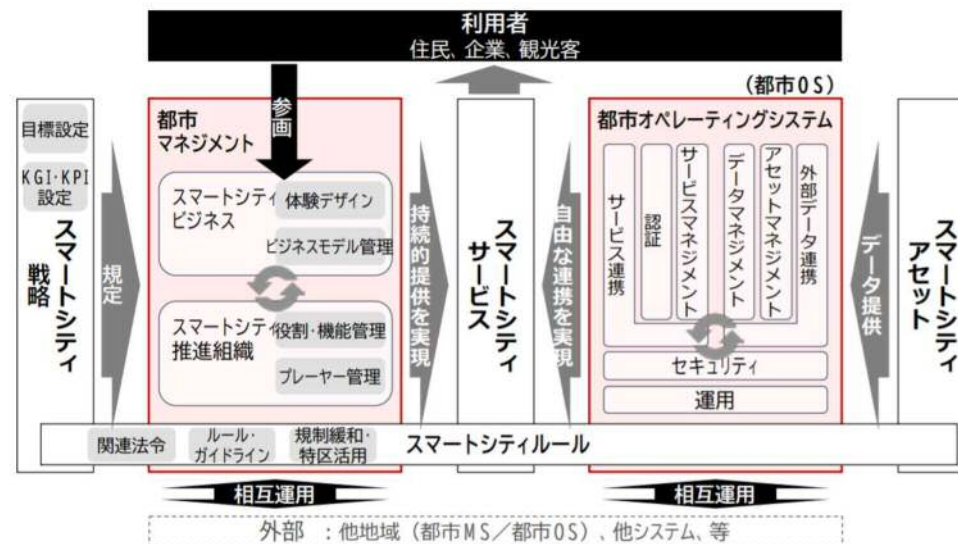
関 治之 氏

- ・オープンデータ利活用事例集を用いた
オープンデータの可能性
(予定)

(8) アーキテクチャーの検証に関する連携



国土縮図型都市・浜松



リファレンスアーキテクチャー



×



白坂 成功 氏

慶應義塾大学大学院

システムマネジメント研究科 教授

国土縮図型都市・浜松において、今年度、慶應義塾大学大学院の白坂教授のチームと連携し、アーキテクチャーから見た、実際のスマートシティの検証を行います。

(9) 取組発信

JBpress

開催概要 タイムテーブル 配信について

公共DXフォーラム2021

JBpress

第2回

公共DX

Forum

～Society 5.0時代の戦略的公共DX～

初回配信日時：2021.8.26（木）9:10～17:15
再配信日時：2021.8.28（土）9:10～17:15

※同じ内容を配信いたしますので、ご都合のよい日時を選んでご視聴ください。

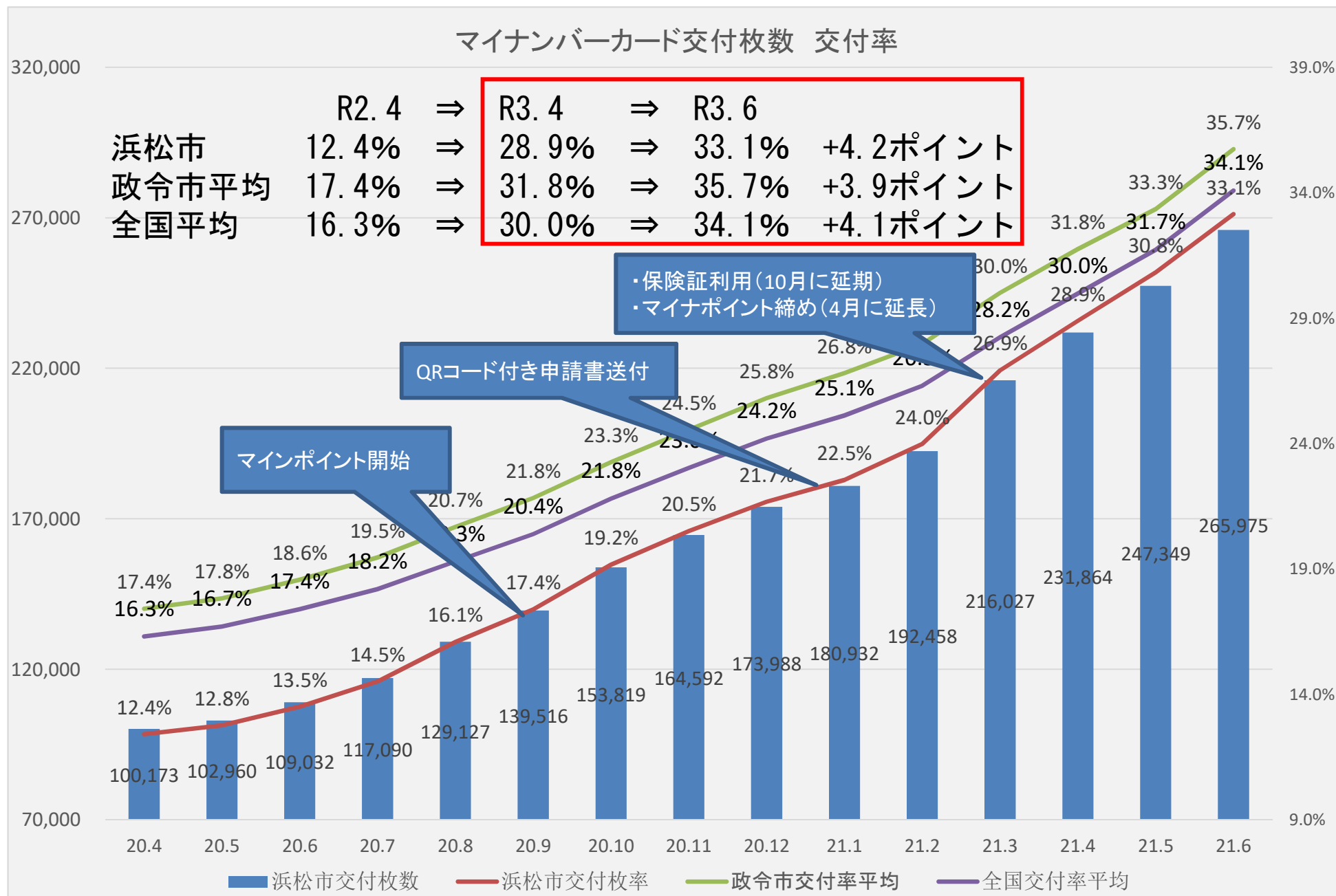
登録ページはこちら▶

特別講演Ⅰ	特別講演Ⅱ	特別講演Ⅲ	特別講演Ⅳ	特別講演Ⅴ
平本 健二 氏 内閣官房 政府CIO上席補佐官	五十嵐 立青 氏 つくば市 市長	鈴木 康友 氏 浜松市 市長	ALLIKIVI RAUL 氏 日本・エストニアEUデジタル ソサエティ推進協議会 (略称：JEEADIS ジェアデ イス) 理事	大野 元裕 氏 埼玉県 知事

4 マイナンバーカード利活用促進部会

(1) マイナンバーカード交付状況と国の動向

マイナンバーカード交付率

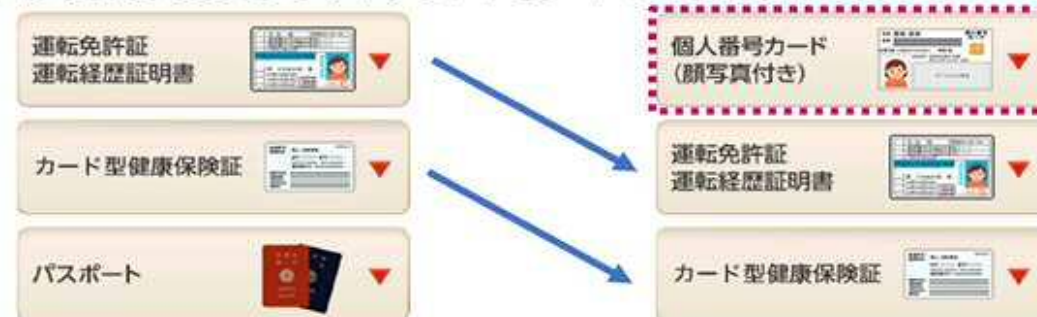


① マイナンバーカードファースト活動等

マイナンバーカードファースト活動を全庁に要請 (6/30)

※ **本人確認書類**として**マイナンバーカード**を**最優先に案内**
(HP、各種案内文、窓口)

■ 本人確認書類としてマイナンバーカードを「最優先」とさせる

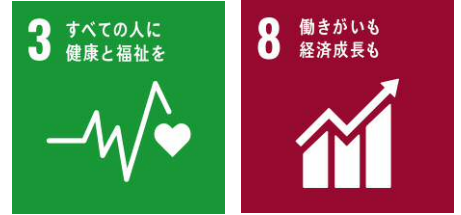


② マイナンバーカード利活用及び普及促進PTの取組

実施月	内容	備考
6月	出張申請サポートの継続	5月の活動の継続
	高齢者スマホ講座と同時開催による申請サポートの実施	計5回実施予定 デジ・スマ本部、協働センターと連携
	ふれあいセンターにおける申請サポートの実施	計3回実施予定 高齢者福祉課、ふれあいセンターと連携
	新型コロナ予防接種集団接種会場におけるPR動画再生	
7月	サービスセンターにおける申請サポート	
	駅前市民サービスセンターを「申請サポート実施センター」へ(広報はままつ7月号に掲載)	

5 各分野の状況報告

(1) ウェルネス分野



浜松ウェルネスプロジェクト

- 「予防・健幸都市／Wellness City」の実現に向けて-

- **国は、人生100年時代の安心の基盤は「健康」**であるとしています。
予防・健康づくりを通じて、国民のQOLを向上し、健康寿命を伸ばし、社会保障の担い手を増やしていくとしています。
 - 言うまでもなく、**浜松市発展の原動力も、市民の皆様の「健康」**です。市民一人ひとりの「健康」なくして、本市の持続可能な発展はあり得ないと言っても過言ではありません。
 - 本市は、厚生労働科学研究班による「**大都市別の健康寿命（2010年、2013年、2016年）**」で**3期連続男女共に第1位**、また、日本総合研究所による「**2018年版 政令指定都市幸福度ランキング**」で**第1位**。
- ▼
- **浜松ウエルネスプロジェクトは、こうした強みを一層磨き上げ、**
“市民が病気を未然に予防し、いつまでも健康で幸せに暮らすことができる都市
(=**予防・健幸都市**)”**を実現するためのプロジェクト**です。

- ウエルネスとは・・・

- ⇒健康を基盤とした“幸せな人生”や“幸せな暮らし”という、健康を広義に捉えた概念。

- ⇒健康をゴールではなく手段とし、病気の治療ではなく、予防・健康増進に重点を置く概念。

- ⇒ウエルネス = 健幸

- ヘルスケアとは・・・

- ⇒健康の管理、健康の維持

**「健康づくり」・
「疾病・介護予防」
の充実**

**安定した
社会保障制度の維持**

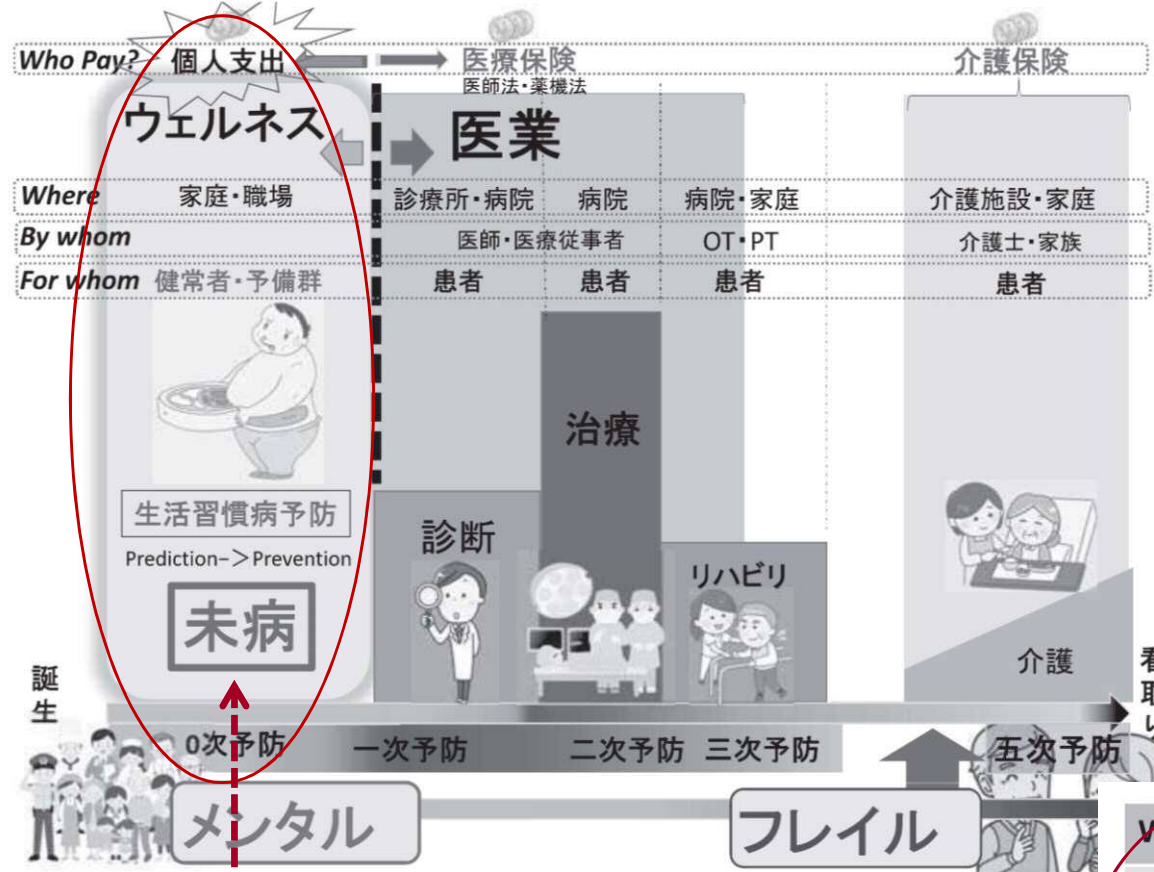


図 2

Target

Wellness	医業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康人(一見)対象 ・ 家庭・職場 ・ 一般人が施行 ・ 予防 ・ 医療保険非対象 ・ Payerが不明確 ・ 全額自己資金 ・ 非規制 ・ 既存データは、検診程度。生活データこれから収集。 ・ エビデンス少ない ・ 科学的に曖昧 ・ 多種・多様 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病人対象 ・ 医療機関 ・ プロが施行 ・ 診断・治療・リハビリ・介護 ・ 医療保険対象 ・ Payerが明確 ・ 個人負担分のみ ・ 規制下(医師法、薬機法) ・ データは既に存在(医療データ) ・ エビデンスあり ・ 科学的に正確 ・ 限定的

表 1 Wellness と医業の違い

目指す都市像

「予防・健幸都市」

市民が病気を未然に予防し、いつまでも健康で幸せに暮らすことができる都市

「70歳現役都市」

市民が健康で明るく生きがいを持って、いつまでも現役で活躍することができる都市

目的

幸福感の高揚

健康寿命の延伸

生活の質の向上

社会保障費の適正配分

ウエルネス・ヘルスケア産業の振興

ウエルネスエコシステム※1構築

※1 ウエルネスエコシステム
医療、企業、大学、団体、行政など、異なる多様な組織が互いに手を結び、市民一人ひとりの予防や健康づくりを地域全体でケアしている環境

地域内外の関係者の英知を結集する官民連携Wプラットフォーム

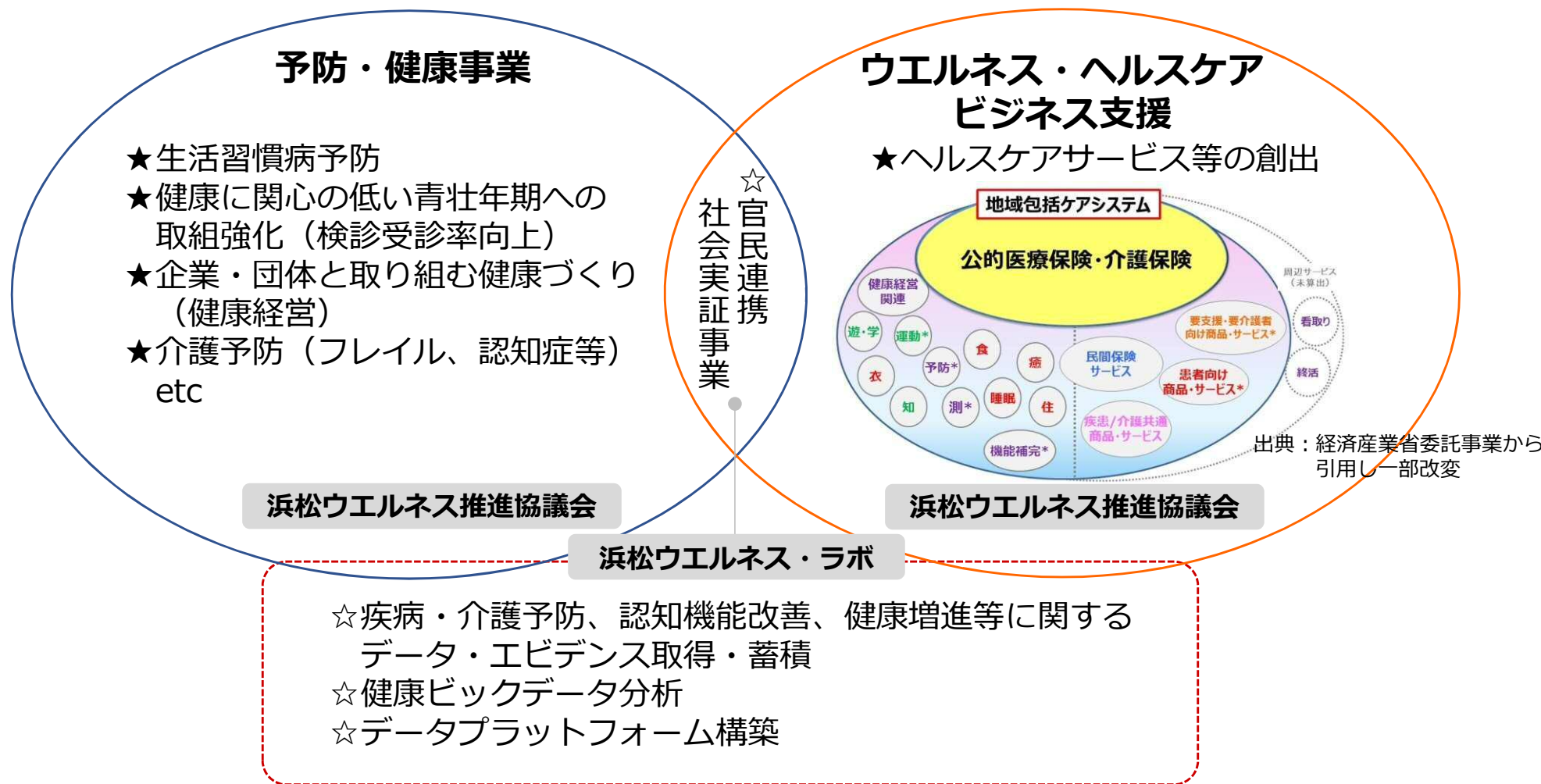
浜松ウエルネス推進協議会

浜松ウエルネス・ラボ

課題

生活習慣病対策、超高齢社会対応（介護対策）、
社会保障費（医療費等）の適正配分、成長産業の育成・・・

- ▶ 浜松ウエルネスプロジェクトでは、2つの官民連携プラットフォームを組織し、市民に対する「予防・健康事業」と地域企業等に対する「ウエルネス・ヘルスケアビジネス支援」を推進。
- ▶ **浜松ウエルネス推進協議会**は、本プロジェクトの地域推進組織として、医療機関、大学、商工会議所を始めとした関係団体、金融機関、地域企業とともに、「疾病・介護予防」や「健康づくり」と、成長産業として期待される「ウエルネス・ヘルスケア分野の産業振興」に同時並行的に取り組む。**R3.7月現在、地域内の128社・団体が参画（地域企業110社、関連団体18団体）。**
- ▶ **浜松ウエルネス・ラボ**は、地域内外の企業と共に、市民の「疾病・介護予防」や「健康づくり」に寄与する“浜松発”の様々な官民連携社会実証事業等を展開し、データやエビデンス等を取得・蓄積。**R3.7月現在、地域内外企業7社が参画。**



浜松ウエルネスプロジェクト (官民連携プラットフォーム)

「予防・健幸都市 浜松」プラットフォーム運営委員会

【事業内容】

- (1) 組織間の情報共有、組織間連携による運営方法等の協議・調整
- (2) 官民連携社会実証事業の選定

【参画組織】

両組織の代表者で構成

浜松版次世代ヘルスケア産業協議会 浜松ウエルネス推進協議会

目的共有

【事業内容】

- (1) 市民の疾病・介護予防や健康づくり
- (2) 地域企業の健康経営の推進
- (3) ウエルネス・ヘルスケア産業の振興
- (4) 地域の官民連携体制の強化
- (5) 疾病・介護予防や健康づくりに関する官民社会実証事業等への協力・参加等
- (6) その他、目的を達成するために必要な事業

連携

【参画組織】

会長 : 浜松市長
顧問 : スタンフォード大学 池野文昭主任研究員
行政機関 : 浜松市 (健康福祉部・産業部)
大学・研究機関 : 浜松医科大学 静岡大学 聖隷クリストファー大学 常葉大学
医療関係 : 聖隷福祉事業団 浜松市医療公社 浜松市医師会 浜松政令市医師会 浜松市歯科医師会 浜松市薬剤師会
地域企業 : 110社 (R3.7月現在)
金融機関 : 静岡銀行 浜松いわた信用金庫 遠州信用金庫
関連団体 : 浜松商工会議所 浜松市社会福祉協議会 浜松市シルバー人材センター 全国健康保険協会静岡支部 はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点
連携組織 : 浜松ウエルネス・ラボ
オブザーバー : 関東経済産業局
事務局 : 浜松市

浜松ウエルネス・ラボ

【事業内容】

- (1) 疾病・介護予防や健康づくりに関する官民連携社会実証事業等の実施

【参画組織】

監修 : スタンフォード大学 池野文昭主任研究員
行政機関 : 浜松市 (健康福祉部)
大学・研究機関 : 浜松医科大学
医療関係 : 聖隷福祉事業団 浜松市医療公社
企業 : キリンホールディングス 住友生命 SOMPOひまわり生命保険 第一生命保険 日本生命保険 ファンケル PREVENT
連携組織 : 浜松ウエルネス推進協議会
オブザーバー : 静岡県
事務局 : 時評社

- 地域外企業を中心にウエルネス・ヘルスケアサービスの社会実証事業等を実施する組織
- 社会実証事業の実施企業による費用負担で運営

- 「予防・健幸都市」実現に向けた地域推進組織
- 浜松市予算で運営

浜松ウエルネス推進協議会

推進協議会は、浜松ウエルネスプロジェクトの官民連携プラットフォームの一つとして、昨年度に引き続き、官民連携で市民の疾病・介護予防や健康づくりを推進する「**予防・健康事業**」と、地域企業等のウエルネス・ヘルスケアサービスの創出・展開に向けた「**ウエルネス・ヘルスケアビジネス支援事業**」を2本柱とし、さらには、**浜松ウエルネス・ラボ**が実施する**社会実証事業**へも参加・協力するなど、各種事業を推進します。

事業推進に当たっては、以下をバランスよく展開していきます。

- ① **推進協議会自らが実施する事業**
- ② **推進協議会と参画企業・団体が連携して実施する事業**
- ③ **参画企業・団体が自ら実施する事業を推進協議会が支援**

こうした様々な事業を市民の皆様などに提供することで、市民の皆様の「健幸（ウエルネス）」とウエルネス・ヘルスケア関連産業の振興につなげてまいります。

→ **質が高く、市民等に有益な事業を創出・展開**

(1) 官民連携によるヘルスケア事業の推進

- ①浜松市ウエルネス認証事業費補助金
- ②社会課題解決キャンペーン
- ③出張！はままつ健幸講座
- ④疾病・介護予防事業・健康づくり事業サポート
- ⑤官民連携共同研究事業
- ⑤その他、官民連携によるヘルスケア事業の推進

(2) 地域企業の健康経営の推進

- ①健康経営シリーズセミナー
- ②健康経営優良法人認定個別サポート
- ③健康経営応援事業
- ④その他、健康経営の推進

(3) ヘルスケアサービス等の創出

- ①浜松ヘルステックシンポジウム
- ②浜松ウエルネス・ヘルスケア現場ニーズ情報交換会
- ③実証実験サポート事業
- ④ファンドサポート事業
- ⑤その他、ヘルスケアサービス等の創出・展開支援

(4) 地域の官民連携体制の強化

- ①テーマ別WG・研究会
- ②推進協議会ホームページを通じた情報集約・発信
- ③浜松ウエルネス・インフォメーション（メールマガジン）
- ④その他、官民連携体制の強化・情報発信等

(5) 官民連携社会実証事業への参加・協力

- ①浜松ウエルネス・ラボが実施する社会実証事業への参加・協力
- ②社会実証事業成果（結果）報告会

(6) 事業報告・活動報告

- ①浜松ウエルネスフォーラム2022
- ②浜松ウエルネスアワード2022
- ③その他、目的達成事業

浜松ウエルネス・ラボ

[目的]

- ・市の課題解決とウエルネス・ヘルスケアサービスの全国展開支援の一環として官民連携社会実証事業等を実施。
- ・「予防・健幸都市」の実現につながる有効なデータやエビデンス等を取得・蓄積。

[対象・方法]

- ・市が抱える課題の解決につながるシステムやサービスを有する地域外企業等と市をマッチングし、市と企業の双方にメリットのある社会実証事業を「浜松ウエルネス推進協議会」と連携して実施。
- ・実証費用は、原則企業負担。

浜松市の課題

- ★生活習慣病予防
- ★健康に関心の低い青壮年期への取組強化（検診受診率の向上）
- ★企業・団体と取り組む健康づくり（健康経営）
- ★介護予防（フレイル、認知症等）
- ★社会保障費（医療費等）の適正配分

民間企業の質の高いシステムやサービス等



市民・地域還元






社会実証成果

事業化

- ★効果の高い製品やシステム・サービス等を予防や健康事業等を通じて全市展開
- ★データやエビデンスを参考に予防や健康事業等を全市展開

- ★各種データ・エビデンスを取得・蓄積
- ★効果の高い製品やサービス等を事業化（全国展開）

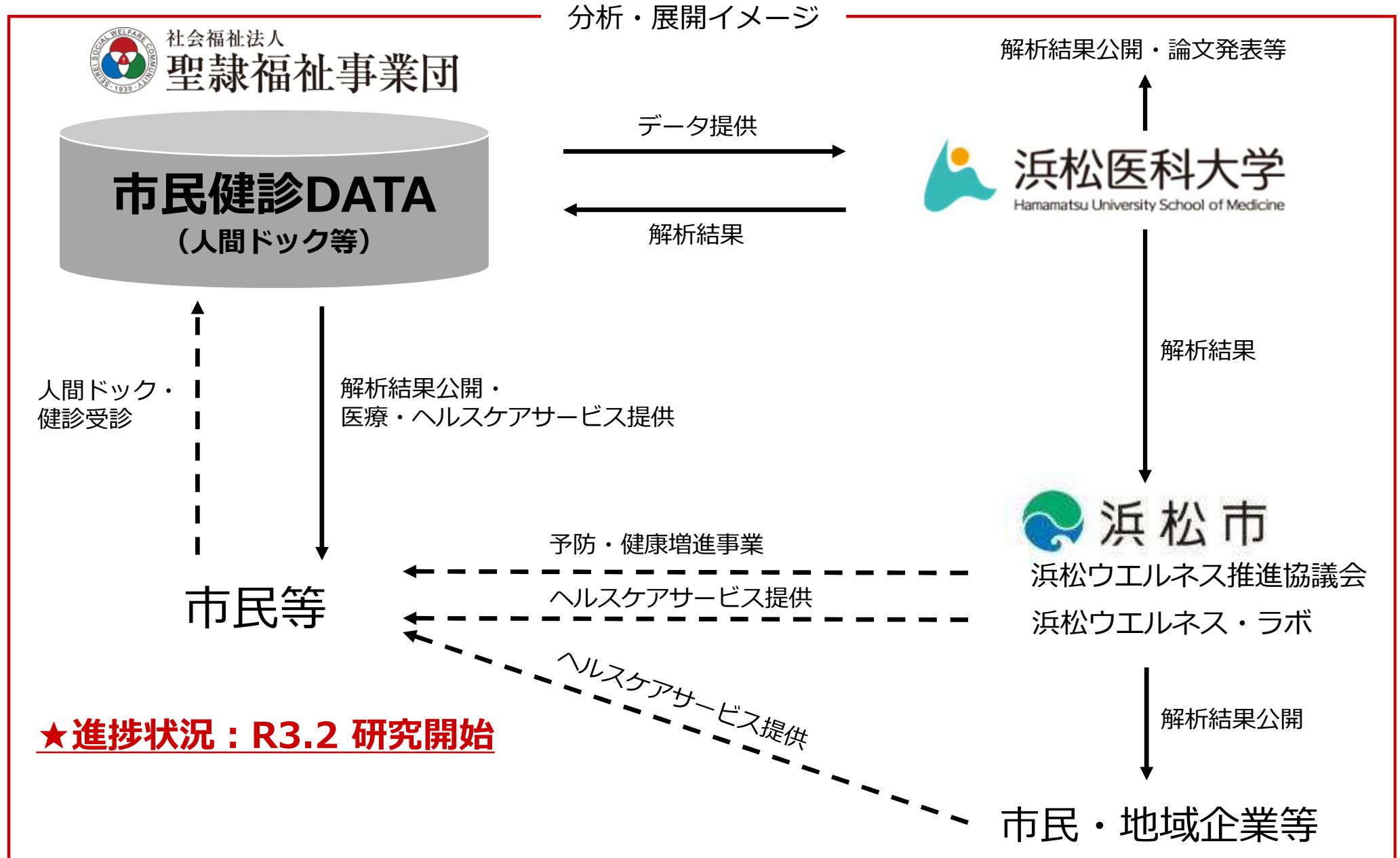
官民双方がWin-Win

企業名 (50音順)	事業名	事業 開始	実施 状況
 	<p>聖隷MCIスタディ ～もの忘れが気になる方の認知機能に対するβラクツリンの効果検証研究～</p> <hr/> <p>中高齢者対象の嗅覚機能と気分・ストレス状態に関する調査研究</p>	R2.9	実施中
	<p>スミセイ“Vitality Action” (トップアスリートによる親子スポーツイベント)</p>	R2.12.5	終了
	<p>デジタル技術&ヒューマンタッチによる血糖コントロール</p>	R2.11	終了
	<p>健康増進アプリによる健康増進活動サポート</p>	R2.12	終了

事業名	企業名	期間（予定）
聖隷MCIスタディ（もの忘れが気になる方の認知機能に対するβラクトリンの効果検証研究）	キリンホールディングス(株) (社福) 聖隷福祉事業団	～令和4年8月
中高齢者対象の嗅覚機能と気分・ストレス状態に関する調査研究	キリンホールディングス(株) (株)ファンケル	～令和3年7月 《研究終了》
「笑い」が脳機能に及ぼす健康効果に関する研究	キリンホールディングス(株)	～令和3年4月 《研究終了》
IoT歯ブラシによるオーラルケア	第一生命保険(株)	令和3年7月～9月
生活習慣病保有者に対する生活習慣改善支援プログラムの効果検証並びに費用対効果に特化した成果報酬連動型モデルの開発	(株)PREVENT	令和3年7月～令和4年3月

※上記の他、SOMPOひまわり生命保険、住友生命、日本生命等が、新たな社会実証事業の内容検討中

- 聖隷福祉事業団、浜松医科大学、浜松市が連携して、聖隷福祉事業団が有する健診（人間ドック）ビッグデータを活用し、本市の健康寿命日本一の所以や本市（市民）が抱えている疾病リスクなど多角的かつ詳細に明らかにする。
- 市や関連団体等は、分析結果を「予防・健幸都市」実現に向けた施策や各種事業に活用する。



(2) エネルギー分野

■ 取組名称

浜松市スマートシティ推進協議会

■ 背景・目的

エネルギー・スマートシティの実現に向けて、地域内外の有識者や、経済界、金融機関、行政が一体となって取り組みを推進する「浜松市スマートシティ推進協議会」を運営した。

スマートシティ関連技術によるビジネス創造を目的に、研究会や勉強会を開催するとともに、地域内外の企業による浜松市域でのスマートシティ実現に向けた実証・実装事業の創出を推進した。

■ 取組概要

● 浜松市スマートシティ推進協議会

- ・ 会員数: 173社 (R3.3月末現在)
(内訳: 市内79事業者、市外94事業者)
- ・ 運営委員会: 令和2年8月7日開催
- ・ スマートプロジェクト研究会
中区、浜北区、天竜区の3エリアで事業推進中
- ・ 水素活用研究会の設立

■ 取組概要図

【プロジェクト事例】天竜区エリア(夢プロジェクトさくま)

地元NPO団体と民間企業を核とした協議会(夢プロジェクトさくま)が、地域森林資源を燃料とした木質バイオマス事業及び発生熱等を活用した付帯事業について検討

令和2年9月には協議会参加15団体で基本協定・秘密保持契約を締結

地域の事業・団体との連携

- 付帯事業
⇒ 新たな産業の創出
⇒ 物産品等の生産・流通



【(例)佐久間産ヒノキの風呂】
【(例)施設園芸】



NPO法人
がんばらまいか佐久間
中学校跡地の活用

【元年10月隣接する浦川地区に新設した中間土場】



【佐久間ダムに浮かぶ流木と引き揚げた流木】

地域との連携

- 住民サービス事業
⇒ 地域福祉の拡充
⇒ 地域雇用の創出



【NPOタクシー】



【地域福祉事業】

地域の事業・団体との連携

- 森林経営・管理
⇒ 森林整備の推進
⇒ リサイクル資源活用



【適切に管理されたFSC認証林
(浜松市は市町村別取得面積日本一)】

■ 取組名称

マイクログリッド事業

■ 背景・目的

複数の公共施設を対象に、電気と熱を融通する8つのマイクログリッドを形成し、再生可能エネルギーを活用して電気・熱を生み出す創エネ設備や、省エネ設備の導入、さらにエネルギーマネジメントシステムによる電力制御を行うことにより、エネルギーの効率的利用とBCP強化を両立した「自立分散型エネルギーシステム」の構築を図った。

■ 取組概要

事業主体:

(株)シーエナジー・(株)浜松新電力・浜松市
※3者協定による事業実施

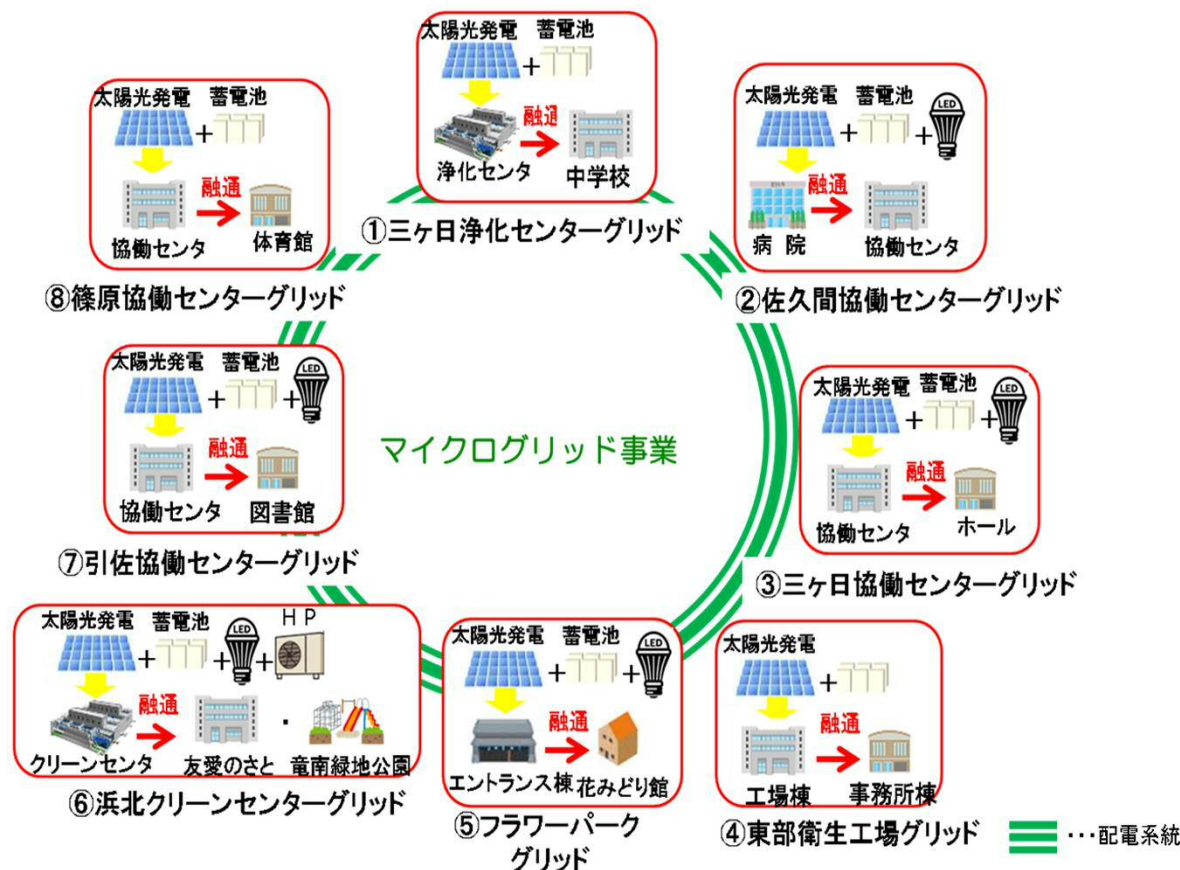
事業期間: 2020(令和2)年度～2033(令和15)年度(エネルギーサービス期間)

総事業費: 799,140千円(市負担額)

エネルギーサービス料 658,812千円 他
※初期投資費用は0円、市負担分は電力料金削減分等から捻出

■ 取組概要図（対象グリッド）

- ①三ヶ日浄化センター・三ヶ日中学校
- ②三ヶ日協働センター
- ③引佐協働センター・引佐図書館
- ④佐久間協働センター・佐久間病院
- ⑤浜北クリーンセンター・はままつ友愛のさと
- ⑥フラワーパーク
- ⑦東部衛生工場
- ⑧篠原協働センター



■ 取組名称

協働センター一創・蓄・省エネ設備設置業務

■ 背景・目的

市内の協働センターへ、太陽光発電設備、蓄電池設備、省エネ設備(LED)を導入し、平常時の環境負荷軽減と非常時のBCP機能の強化を図るとともに、「自立・分散型エネルギー」による地域拠点のBCP強化と低炭素化の同時実現による次世代エネルギーモデルの構築を目指すもの

■ 取組概要

設置個所：協働センター(34カ所)

設置設備：各施設へ

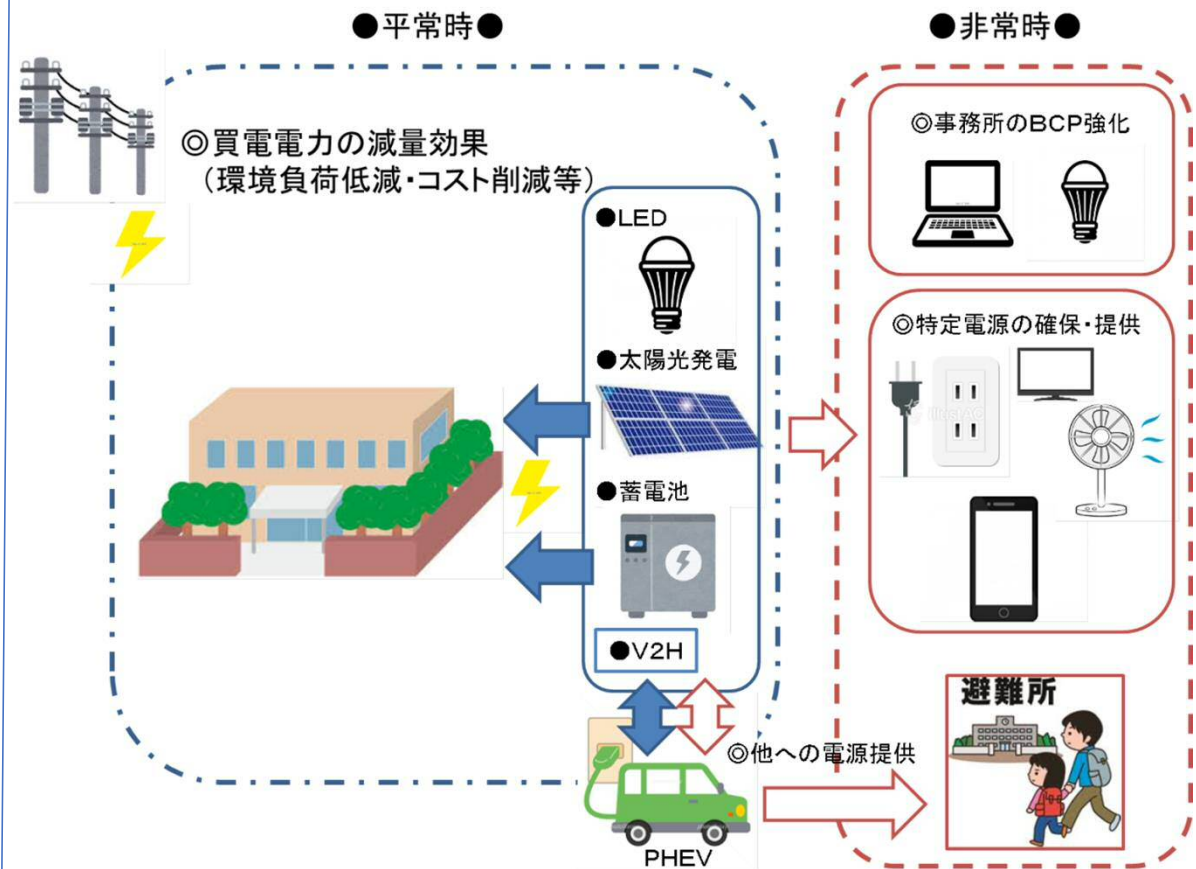
太陽光発電(10kW程度)

蓄電池(9.8kWh)

LED照明(事務所内の交換可能数)

工事期間：7月～12月予定

■ 取組概要図



(3) 教育分野

静岡大学の取組

オープンデータをテーマとした アイデアソン・データソン

- 主催
静岡大学情報学部（協力：静岡県、浜松市）
- 開催日
アイデアソン：7月 4日（日）9：30～17:00
データソン：7月18日（日）10:00～17:00
- 参加者
社会人6名、大学生8名、高校生5名

浜松市の地域課題解決や地域資源の発掘、地域の魅力向上及び活性化を図ることを目的に、オープンデータの利活用をテーマとしたアイデアソン・データソンを実施。

（今回使用されたオープンデータの例：空き家の位置、人口分布、公共施設、3次元点群データ・・・など）



はままつ ITキッズプロジェクト

主催 | 浜松ITキッズプロジェクト推進会議

（NPO法人浜松ソフト産業協会・浜松理科教育研究会・浜松科学館・浜松市）

静岡大学 情報学部

小学生コース 9期生：2020年7月からの受講生

中学生コース 5期生：2021年5月からの受講生

[小学生コース]

[中学生コース]

- ITロボット講座

- ロボットプログラミング

- ITコンピュータ講座

- アプリケーション開発コース

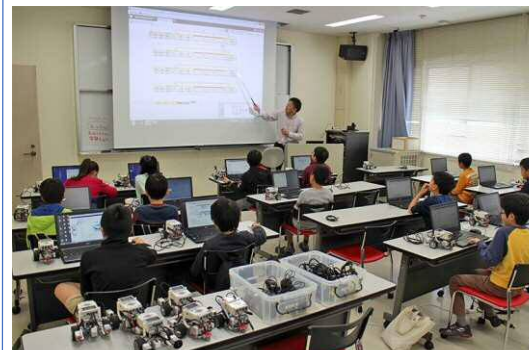
- IT英語講座

- IT英語

- IT算数講座

- 理数上級

- IT理科講座



令和3年度 学科横断プロジェクトデザイン（浜松未来総合専門学校【一般会員】）

取組概要

「デジタルを活用した地域課題解決」をテーマに、課題発見、解決策の検討、検証、発信までを行う問題解決型授業を実施する。

参加学生

同校 4カレッジ11学科の1年生 331名

※4カレッジ：デザイン・クリエイションカレッジ、IT・テクノロジーカレッジ、こども・医療事務カレッジ、国際カレッジ

スケジュール

7/13 第1回 キックオフ

9/7～12/21 週1回活動

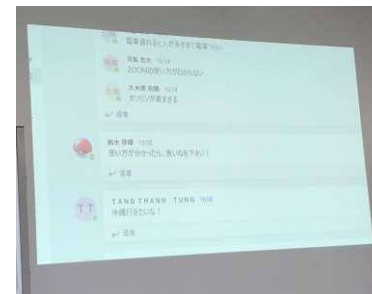
（90分/1コマ × 15コマ）

協力

- ・ (株)Frogs【一般会員】
→シラバス作成、ノウハウ提供等
- ・ 浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部
→地域や企業との連携等におけるサポート

キックオフ（7月13日（火）15:00-16:30）

- ・ プログラム概要説明
- ・ デジタル・スマートシティ浜松の取組について
（浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部）
- ・ ミニワークショップ
（身近な課題についてグループワーク）



「高校生モノづくりコトづくりプランコンテスト2021」 ※今年で9回目の開催

応募資格・応募テーマ

対象：高校生（3年生以下の高等専門学校生も可）

応募テーマ：「モノづくりテーマ」
「コトづくりテーマ」

※イベント企画、ビジネスプラン、
情報サービス、地域コミュニティなど

応募期間

令和3年7月1日（木）～11月30日（火）

※最終審査

日時：令和4年2月19日（土）

会場：FUSE（フューズ）

主催

静岡理科大学、浜松市

静岡理科大学・浜松市主催

高校生モノづくりコトづくりプランコンテスト2021

【ものづくり】や【コトづくり】に興味や関心のある高校生の皆さん。
「こんなものがあればいい」「こんなことをやってみたい」「夢のあるアイデアを（カタチ）にして、売り出したい」など、皆さんのオリジナルで、アイデアに優れたプランを募集しています。よろこびに応募ください。

応募テーマ	応募部門
【ものづくり分野】 機械加工物、電子部品、生活用品の改良など 【コトづくり分野】 イベント企画、ビジネスプラン、情報サービス、地域コミュニティなど	【個人の部】 申請者が1人でプランを作成し、応募するもの 【グループの部】 2人以上でプランを作成し、応募するもの

応募期間：R3.7.1（木）～R3.11.30（火）

主催：静岡理科大学、浜松市
 協賛：浜松市、静岡県教育委員会、静岡県、静岡県立大学、静岡県立総合高等学校、静岡県立浜松高等学校、静岡県立浜松女子高等学校、静岡県立浜松女子大学、静岡県立浜松女子短期大学、静岡県立浜松女子大学附属高等学校、静岡県立浜松女子大学附属高等学校附属中学校、静岡県立浜松女子大学附属高等学校附属小学校、静岡県立浜松女子大学附属高等学校附属幼稚園

6 意見交換